

036

楽しみながら防災意識を高める 「減災かるた」の製作と活用

取組主体

市辺地区まちづくり協議会（減災のまちづくりプロジェクト）

従業員数

想定災害

実施地域

約 100 人

全般

滋賀県

- 防災センターの取組や防災書籍を参考に、独自の視点から楽しみながら減災意識を高める「減災カルタ」を製作。子どもを起点とした防災・減災普及啓発を目指し、滋賀県東近江市内の市立小学校 22 校にカルタを寄贈。

1 取組の特徴（はじめたきっかけ、狙い、効果、工夫した点、苦労した点）

「減災かるた」を通じた防災、減災の普及啓発

- 熊本地震が、それまで比較的安全と言われてきた地域で発生したことをきっかけに、滋賀県東近江市の市辺（いちのべ）地区まちづくり協議会では自地区でも地震は必ず発生するとの危機感を共有し、平成 28 年 5 月の役員会で「減災のまちづくりプロジェクト」の発足を決めた。
- 同プロジェクトの一環として平成 29 年に実施した住民の意識調査に関するアンケートにおいて、同地区では防災に対する事前の備えや自主防災組織の浸透が不十分であることが浮き彫りとなった。このため、同会では地区民への減災に関する啓発、自主防災組織の充実、災害弱者への対応に取り組んできた。
- 自分の命は自分で守る、減災への意識が根付くよう、まずは子どもたちを対象とした啓発活動を行うこととした。子どもたちの家庭を介して地区全体へ広がることを期待し、小学生でも親しみやすい「かるた」の活用に着目した。
- 同協議会が製作した「減災かるた」は、イラスト、読み札の各 44 枚で構成されており、災害関係の資料や書籍、防災センターでの取組等を参考に、オリジナルの内容となっている。フリー素材のイラストを活用して視認性の高い絵札となるように工夫し、絵札と一致するよう読み札の文章も推敲した。
- 学校現場での指導に活用しやすいよう、使い方を紹介する DVD と解説書も作成した。令和 3 年 3 月には、製作した「減災かるた」及び DVD、解説書を計 22 セット、東近江市立小学校（22 校）に寄贈した。



「減災かるた」と使用解説書



減災かるたを東近江市内の小学校（22 校）に寄贈

2 取組の平時における利活用の状況や防災・減災以外の効果

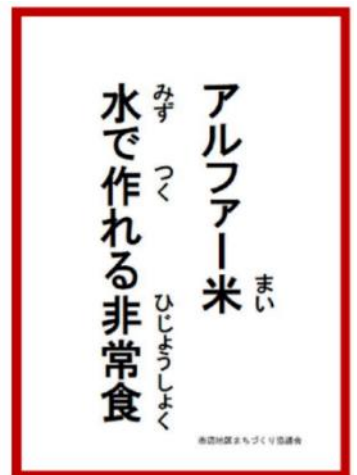
- 令和3年12月には、小学6年生50名を対象に、減災かるた大会が行われた。高学年を対象に、文字がないバージョンの絵札も作成し、絵札のイラストから読み札の内容を考えてもらう工夫をした。文字と絵札をただ暗記してしまうのではなく、かるたの読み札の内容を正しく理解することで、子どもたちの減災への理解がより深まっていくことが期待される。



減災かるた出前授業の様子



親子を交えた減災かるた大会の様子



読み札・絵札の一例

3 現状の課題・今後の展開等

- 同協議会では、大きな地震を経験していない地域における防災や減災の啓発は非常に難しいと認識している。万一のときにどうすれば自分の命が守れるのか、またどうすれば地区民全員が地震への危機意識を持って生活できるのかという視点から、今後も工夫しながら取り組んでいく考えである。

4 周囲の声

- 子どもとコミュニケーションを取りながら勉強できるのがよい。(減災かるた使用者)
- 家で簡単にできる備えにたくさん気づけた。楽しみながら備えを学ぶことができる。(減災かるた使用者)

担当者の声

- 地震等の災害が発生したとき、「備えておいてよかったね」と言える地域を目指して頑張っています。

問合せ先

市辺地区まちづくり協議会（市辺コミュニティセンター内） 法人番号：5700150031414
TEL：050-5802-3392 FAX：050-5802-3392 E-Mail：ichi-kyo@e-omi.ne.jp

サイト URL

